

会 議 録

会議名 (付属機関等名)		令和3年度第2回川西市 PTA あり方検討会		
事務局 (担当課)		教育推進部 教育政策課 (内線3351)		
開催日時		令和3年12月5日(日) 10時から12時		
開催場所		川西市役所 7階 大会議室		
出席者	委員	野崎構成員、福本構成員、乾 構成員、池内構成員、古谷構成員、秋葉構成員、川原構成員、小野構成員、高垣構成員、熊手構成員、小和田構成員、岡田構成員		
	その他	越智多田小学校長		
	事務局	中西教育推進部長、岩脇教育推進部副部長、的場教育政策課長、池田教育政策課主査、榎本教育政策課主任		
傍聴の可否予定		可	傍聴者数	8人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		1. 開会 2. 議題 (1)単位 PTA の取組に関するアンケートについて (2)PTA の組織や活動のあり方について 3. 次回の開催について 4. 閉会		
会議結果		審議経過の通り		

審議経過

事務局	【開会】 出席者の確認 資料の確認 議事
座長	<p>令和元年度から協議を始めて、今回が実質 6 回目の開催となる。今回と次回の協議をもって、本検討会としての結論をまとめ、川西市の PTA についてモデルとなるような形を提示できるように、協議を収束したいと考えている。</p> <p>これまでの協議で「PTA 組織は必要なものである」ということは、共通理解ができている。今の時代では、それぞれの多様性（ダイバーシティ）を認めながら、排除せずに包摂する（インクルーシヴ）ことがキーワードになっている。このキーワードを両立させながら、どのように PTA を持続可能な組織にしていくか、具体的に考える必要がある。</p> <p>そのためには、地域の事情や時代の変化等を踏まえつつ、どのような工夫ができるか、具体的な知恵やアイデアを情報共有していくことが必要となるので、それぞれが取り組まれていることを発信してほしい。</p> <p>また、議題（１）「単位 PTA の取組に関するアンケートについて」にも関わることだが、本検討会に参加していない単位 PTA の実践も情報収集できるよう、事務局から単位 PTA にアンケートを実施し、集約したものを報告書に取り入れたいと考えている。その方向で進めてもよいか。</p> <p>それでは議題（２）「PTA の組織や活動のあり方について」話を進めていきたい。まずは、副座長から神戸市での取組や考え方について、説明していただきたい。</p>
副座長	<p>社会環境の変化に伴い、PTA をより分かりやすい組織にし、無理のない範囲で活動に取り組めるように、現状を見直す必要があった。また、加入の同意や会費徴収の方法、個人情報の取扱など、より具体的な課題に対しても改善することが求められていた。川西市の場合は、多くの学校で取り組まれており、先行して改善が図られている。</p> <p>一方で、入会届を取ることで、3 割程度の人が入らないなど、現場は混乱しているように感じている。</p>

	<p>今までと違い、非会員の子どもに対する配慮が必要になっているため、PTA 主催行事や PTA からの記念品等は、廃止する学校が増えている。</p> <p>また、PTA 会費についても、不要な経費を削減できるよう、形式的な活動は無くし、各家庭が負担する会費の低額化が進んでいる。学校のために PTA が支出していた費用は、学校徴収金に移行する等、会費の用途が適切となるよう見直されている。</p> <p>こうした課題を踏まえて、神戸市では PTA を「保護者会」とする動きがある。これは PTA を廃止するものではない。</p> <p>神戸市ではコミュニティ・スクールを令和 4 年度に全校に設置することになっている。このコミュニティ・スクールは法律に基づいた組織で、保護者の代表者にも学校運営に携わっていただく。その保護者の代表者を位置付けられる組織として、保護者が全員参加する「保護者会」という組織を立ち上げる単位 PTA が神戸市では増えている。これは会費を集めないことで、同意を得る必要がなくなることで組織することができる。</p> <p>活動については、今までと同じように取り組んでいるが、会費を集めないため、お金を使うことができない。そのためコミュニティ・スクールに関連する費用として公費を支出することも可能としている。</p> <p>また、市の PTA 連合会には会費が納められないため、脱退する動きもあるが、区単位の連合体は継続して組織されており、横のつながりによる情報共有はできるようになっている。</p> <p>こうした神戸市の現状も参考にされながら、川西市の PTA の方向性を考えていきたいと思う。</p> <p>併せて、昨今の学校では、新型コロナウイルス感染症対策や新学習指導要領の導入などで、丁寧な対応が求められている。その上に、教職員の勤務に関する法律が改訂されたことで、月 45 時間以上勤務してはいけないと定められた。こうした課題が 2020 年に集中したため、これを解決するためには、学校だけでなく保護者や地域の力が必要だと感じた。学校だけで取捨選択するのではなく、当事者である保護者や地域の方が、学校運営に参画することで、より解決しやすくなると考えている。</p>
座長	<p>今の話も踏まえて、出席者から学校の立場から何か取組や情報提供できることはないか。</p>
構成員等	<p>2020 年から通常の PTA 活動そのものができなくなっている。また教職員の働き方等についても、保護者や地域の理解が必要なので、学校だけでは抱えきれない。こうして議論ができるようになったことは、昔と比べてとても進歩していると感じる。教職員の勤務時間や残業時間等の現状も保護者と情報共有し、改善を図らなければならない。</p>

<p>構成員等</p>	<p>市の中学校長会議では、超過勤務の現状が示され、多い学校では45時間以上働いている教員が7割近くいる。学校自体は以前に比べると非常に落ち着いており、問題行動の対応は少なくなっている。一方で、ICT等便利なことが増えてきている中で、便利になればなるほど、さらによりよくしようと工夫を重ねている。工夫することは良いことだが、それが原因で超過勤務が増えると学校は改善しなければならない。職員としては、頑張っている中でそうした指摘を受けることに不満を感じている。部活動の問題についても、負担に感じる先生もいれば、もっとやりたいと思う先生もいる。いろんな考えがある中で、学校としてどうしていくのか、大きな課題になっている。PTAの活動についても、先生たちはPTAの重要性は分かっているが、学校が抱える現状を踏まえて、折り合いをつけていかなければならないと考えている。</p>
<p>構成員等</p>	<p>幼稚園では毎朝の送り迎えて、保護者と職員が顔を合わせるのも、そこで意見を言える機会がとても多いと思う。一方で、園長はPTAと密接に関わっているが、職員はPTAと話し合う時間帯に保育をしているので、どのような話になっているのか知る機会が少ない。管理職がPTAとどのような話をしたか、議事録を配布する等、教職員に分かりやすく伝えていくことで、教職員も含めた風通しの良いPTA活動にしていくことが大切だと思う。</p> <p>また、園児数が減少しているため、PTA会費も減少している中で、卒園記念品等を今まで通りに行うことが難しくなっている。バザー等のイベントも止めており、収入源をどうするかが課題である。その点では地域の資源回収で得たお金を活用させていただいている。</p> <p>川西市では公立幼稚園が来年度から4園になる。入園児数についても大体どの園でも1桁ほどになっているため、役員数や業務等を見直し、幼稚園PTAをどのように運営していくか考えていかなければならない。</p>
<p>座長</p>	<p>幼稚園のPTAと、小中学校のPTAとでは任意性が違う。幼稚園は保護者が川西の公立幼稚園を選んで預けている。公立学校の場合は、校区の学校に行くことが前提のため、任意性が幼稚園と比べて弱くなる。但し、特別支援学校と高等学校は、幼稚園と同じく任意性が高くなっており、組織の性格が違う点を理解しておく必要がある。</p> <p>また、コミュニティ・スクールについて副座長からも話があったので、確認しておく。法律の規定により、全ての公立学校に学校運営協議会を設置することが定められた。学校運営協議会は私立学校の理事会のような意思決定機関で、場合によっては人事権を付与する等、一定の権限を</p>

	<p>持つ組織とすることもある。この組織を設置した学校をコミュニティ・スクールと言う。こうした動きは、任意性の高い公立幼稚園では比較的進めやすいが、公立小中学校の場合は様々な課題がある。まず、学校運営協議会には保護者代表を入れるが、その保護者代表をどのように決めるのか、という課題がある。これは PTA に関わる課題だ。従前であれば、PTA 会長もしくは PTA が推薦した人を入れれば、保護者代表という形になっていたが、任意加入が明確になったことで、保護者代表の決め方を課題に考える学校は少なくない。そういう点で、コミュニティ・スクールの設置と PTA が関わっているということだ。</p> <p>では、ここからは各組織や地域でこの間取り組まれたことを含めて、フリーディスカッションしたい。</p>
<p>構成員等</p>	<p>先日、副座長の中学校で運営委員会を見学し、PTA の必要性を実感した。先生が困っていることを、PTA 役員だけが知るのではなく、全ての保護者に伝えていくことが大切だが、プリントを配布しても見てもらえない等、興味がない人に伝えることはとても苦労した。その点では、先生と話ができる機会があることに興味を持つ人は多いと思う。私も先生の困り事や保護者の意見を話し合う場があることはとても素晴らしいと感じたので今後取り組んでいきたい。</p> <p>私の学校では「PTA」という名前に対して嫌悪感を抱く方がいるので、名前から変えて、ボランティア団体のような形で取り組んでいく予定だ。今後は全員が参加する保護者会のような組織が良いと思っている。但し、それには会費の問題があり、お金を取らない組織にするためには、課題が残っている。現時点では、その前段階として、今年度中に規約を改正し、より関わってもらいやすい団体にしておきたいと考えている。その中には、先生とコミュニケーションがとれる運営委員会も取り入れていきたいと考えている。</p>
<p>構成員等</p>	<p>前の検討会でも伝えたが、PTA は保護者だけの組織ではなく、保護者と教職員が目的を共有する仲間だという意識が大切だと思う。その点で、先生にも当事者意識を持って参加して欲しいと思っている。現状では、校長先生や教頭先生は、PTA の役員として運営委員会等に関わっていただいているので、PTA のことをよく分かって下さっており、情報も共有しやすい。一方で、一般の先生が PTA と関わる機会が少ないので、変えていきたいと感じている。先生も会員なので当事者意識を持って活動に参加してほしいと思っている。ただ、それが教職員の働き改革を進める上で負担になるような関わり方をして欲しいわけではない。反対に先生たちの負担を減らすために、保護者が協力できる事は何か知りたいと思うの</p>

<p>副座長</p>	<p>で、そうしたことを伝え合うことから、PTA との関わりを持っていただきたいと考えている。</p> <p>本校の運営委員会に学年主任が来ている理由は、保護者の意見をタイムリーに取り入れていくことで、よりスムーズに学年の運営ができると実感しているからだ。保護者の意見を聞くことで、修学旅行やトライやるウィーク、体育大会等を実施する際に、急な変更にも対応でき、近隣校ではできなかった行事も工夫して実施できた等の成功体験があるので、保護者の意見を大事にできている。これは保護者に喜んでもらうためではなく、自分たちの職務をよりスムーズに遂行するためであり、継続して取り組むことで、そういう意識を持った学校に変わってくる。</p> <p>コロナ禍では、そうした意識が如実に現れる結果となった。管理職がいなくても話をできる関係が築けていることが必要だ。</p>
<p>座長</p>	<p>学校の困り事をオープンにすることで、学校も助かる面があり、保護者にとっても参画感や達成感が出てくる。</p>
<p>構成員等</p>	<p>小学校の場合、PTA が運営委員会をしている時間に先生は授業をされているので、校長先生しか参加できていない。PTA としては、先生にも現状や目的を知って欲しいので、何か一緒できることがあれば良いとは思っている。意思の疎通は比較的図れているが、そうした機会がより設けていきたいと考えている。</p> <p>保護者に対しては、コロナ禍ということもあって、運営委員会をオンラインで配信している。オンライン配信では、リアルタイムに見ている人がその時に質問ができるように工夫している。これを続けていけば、保護者から学校に聞きたいことが、リアルタイムに聞けると思う。一方先生の要望等は、なかなか入って来ないのが現状なので、よりよい形で意思疎通ができればと考えている。</p> <p>PTA 活動に対して、気を使って下さる先生方も多いが、PTA としては何とか協力をしたいという意識があるので、もっと学校側から積極的に関わっていただきたいと感じている。</p>
<p>副座長</p>	<p>例えば、小学校がコロナ対策で学年別で運動会とか音楽会を開催している場合があるが、この決定に保護者の意見は取り入れられていない。最終的には職員と協議して校長が判断するが、修学旅行やトライやるウィーク等の重要な判断をするプロセスには、保護者の意見が入っている方が良いと考えている。これは、学校運営にとって必要なものだと、新たに気づいていくことが大事だと思う。</p>

<p>構成員等</p>	<p>保護者としては入れていただきたいと思っている。学校からは、決まったことを知らせてもらうが、その決定に至ったプロセスがなかなか見えない。</p>
<p>副座長</p>	<p>ある小学校ではイベントを奇数と偶数の学年に分けて分散開催した。この場合、兄弟関係によっては損得が発生するので、全ての保護者から理解を得ることはできない。しかし、その判断のプロセスに保護者代表が関わっていると理解を得やすい。そのプロセスも全て手紙で示したので、クレームはほとんどなかった。</p> <p>こうした事例は学校の中にたくさんあるので、保護者とともに考えた結果として判断することで、理解を得やすいと考えている。</p>
<p>構成員等</p>	<p>地域の中でも、学校が一方的に決めるのではなく、保護者の意見を聞いてほしい、という声がある。</p> <p>私の地域では、コミュニティ・スクールとして取り組んでいるので、比較的オープンに情報共有ができていくように感じる。一方で、特に大事な小学校の先生とPTAや地域の連携はありそうであまり無い。</p> <p>地域はあくまでも援助の手を差し伸べることが役割なので、当事者である学校と保護者主体となって取り組んでいただき、それに対して地域が協力していきたいと思う。それを決して負担だとは思っていない。</p>
<p>座長</p>	<p>地域や保護者が学校運営に参画していくことが求められてきている。これからコミュニティ・スクールを設置していく上で、地域とどのように関わっていくことが必要と考えるか。</p>
<p>構成員等</p>	<p>コミュニティは、小学校区ごとにあるので、それを中学校で考えると、2つ、3つのコミュニティが一緒になって進めていく必要があり、中学校区としてどういう組織を築くか非常に難しい。それぞれのコミュニティが取り組まれていることを、中学校区の中でどのように協力していただくか調整することがキーポイントになると感じている。</p>
<p>構成員等</p>	<p>私の地域では1つの中学校に3つの小学校があるが、その3つの小学校が先に学校運営協議会を設置して、中学校に集約される方が理想的だと思うが、先に中学校がしっかりした組織になっているので、小学校がなかなか進んでいない。コミュニティの立場から考えると小学校の取組を早く整えていく必要がある。</p>

座長	<p>コミュニティ・スクールと PTA はとても連動している。教育委員会の動向を見守りたい。</p>
構成員等	<p>先生と連絡を取り合える関係にしていきたいと思うが、川西市の PTA の現状は、大半の役員が 1 年で変わるため、5 月に新しい組織が発足して、全員が新しい役員でスタートすることが多い。最近になって立候補を募り、なり手が少ないので複数年役員をする方も増えてきているが、なかなか続かない。今日ここに集まっている保護者は、何年も PTA をしているのだからこういう話し合いが理解できるが、1 年で辞められる方には理解していただけないことが多い。「地域に根ざす」「地域と話をする」ということ自体に理解が得られないこともある。</p> <p>PTA は、保護者が地域活動に入る最初の登竜門だと考えている。そういう点で、次の担い手を育てていくことが必要だと思う。PTA は次年度の役員を見つけることに四苦八苦しているが、それを保護者だけでなく、先生や地域の皆さんと一緒に取り組んでいくことで成熟した地域になると考えている。</p>
構成員等	<p>私は幼稚園だが、今の意見にとっても共感する。PTA のことが分かってきた頃に卒園するので時間が足りない。地域活動に参加することも 1 年で終わってしまう。会長としての役目を、初めてする人に繋げることも大変だ。このような継続が出来ない状況を解決できれば、もっと実になった保護者会になると思う。</p>
構成員等	<p>役員の楽しさややりがい、出合いやつながりの良さを感じた頃に終わることになるので、「もったいない」と思う。</p> <p>また、公立の認定こども園には、保護者会 (PTA) を立ち上げていない。その中で、先生に「何かできることはないか」「こういうことで協力したい」といった声かけをする保護者もいる。こうした方の中には保護者会 (PTA) に取り組んできた方もおられ、やりがいやつながりの大切さを体で感じたりした方だと思う。そうした保護者の力はとても有難いと思う。</p> <p>また、私の勤める幼稚園の地域でも小学校でコミュニティ・スクールのモデル校がある、私も運営委員会の委員をしている。そのメンバーになっている方は、幼稚園の時にも助けてくれた地域の方々ばかりだった。</p> <p>参観日の時には地域の方が、赤ちゃんの面倒を見る子守ボランティアになっていただき、保護者が参観しやすい環境にできるよう協力していただいた。そういう意味で、私は本地域に育てられたという実感があるので、保護者主体であると同時に、地域の方も主体的に関わっていただ</p>

座長	<p>くことで、保護者や地域とのつながりもでき、より風通しの良い関係になると感じている。</p> <p>PTA は地域活動の入り口だと思う。子どもと母親が同じ小学校だという家庭は少ない。つまり、母親は自分の地元ではない地域で子育てをしている、「アウェイ」だということだ。そのアウェイをいかにホームにしていくかが重要だ。そういう意味で、地域活動の入り口となる PTA はとても重要な役割を果たしていると考えている。</p>
構成員等	<p>違う見地ではあるが、最終的にどういう人間を育てるか、ということが非常に重要だと思う。これから日本の教育は何を目指していくのか、考えていく必要がある。かつては世界のトップ企業として日本の企業が活躍していたが、現在は衰えてきたように感じている。</p> <p>隣国では、厳しい就職競争に乗り越えるため、海外へ留学する子どもが多いと聞く。次のリーダーを育てていくためには、そういう視点も持った上で、教育を進めていくことが重要だと思う。現在の日本の教育に率直な不安を感じる。</p>
座長	<p>教育という言葉が出たが、PTA や子供会、婦人会は社会教育団体であり、大人が学び、育ち合うための組織なので、子どもとともに、大人も学んでいくことが大切だ。</p>
構成員等	<p>私は、昨年小学校の PTA 役員をしていたが、コミュニティの方に学校の清掃等で手伝っていただき、とても助かった。しかし、1年で会長を交替すると、PTA 活動の中身が全く見えなくなったと、実感している。</p> <p>やはり PTA 自身がアピールする等、PTA の見える化を進めていくことがとても求められていると思う。先ほどの話でも出ていたが、一般の会員の中では、無関心の割合がとても高くなっていると感じている。PTA が嫌いだという人にはまだ話をしていく糸口があるが、無関心な方にどのように関わっていけばいいかわからず、悩んでいる PTA 役員の方は少ないと思う。</p>
座長	<p>ここで 10 分程度休憩をとらせていただく。</p> <p>休憩</p>
座長	<p>これからの協議を進めるにあたり、テーマを収斂すると、今まで協議していただいた内容を踏まえながら、PTA として望ましいあり方について</p>

副座長	<p>話し合っていきたいと考えている。これからの協議を始めるに前に、副座長から論点を整理していただく。</p> <p>川西市 PTA あり方検討会として、PTA 活動に関わる皆さんに伝えたい PTA のあり方をここから話し合いたいと思う。</p> <p>まず本日の協議で、意見が共通していたテーマとして、「学校運営への参画」がある。これは学校との関係が近い保護者が学校運営に参画したら、その同心円上にある地域の方も参画しやすくなり、開かれた学校につながる。まずこうした学校運営に参画するために、学校園の PTA として、意識してほしいことを決めていきたいと思う。例えば具体的にいうと、月に一回程度、学校と保護者が意見交換する場を設けるよう、本検討会として提言する等も考えられる。これは学校の負担を増やすのではなく、教職員の働き方改革や学校運営の合理化、子どもの幸せの実現につながる取組と理解した上で、学校と PTA の双方が意識を変えて取り組んでいただきたい。</p> <p>また、これに関連したテーマとして「人材難への対応」が挙げられる。個人的な考えとしては、PTA 役員の後継者を選ぶ際に、学校が関わることも一つの方法だと思う。学校運営に携わっていただく保護者の方なので、面談する等、お互いの思いや考えを事前に共有する機会を持ち、これからの PTA を担っていただく人材を確保することに学校も関わる必要だと思う。また PTA は任意団体なので、学校は関わりづらい面もあったが、学校運営協議会の保護者代表を選ぶという点では、関与していくことが必要だと考えている。</p> <p>次に考えられるテーマとして「無関心への対応」がある。私の学校では、SNS 等を使い、自分の子どもに直接関係すること等について、アンケートを実施すると、保護者からの反応は多い。漠然としたことではなく、相手の関心を掘り起こすような具体的な内容にする等、工夫次第で反応は変わると思う。</p> <p>こうしたテーマで、皆さんと意見を交わし、方向性をまとめていきたいと思う。</p>
座長	<p>今副座長が示したテーマをもとに、それぞれの考えや取組等についてご協議いただきたい。</p>
構成員等	<p>私は、PTA の目的が十分に理解されていないと感じている。そして目的を見失っている部分が、組織や活動の充実に大きく影響していると思う。今の PTA は手段を目的化して活動していることが多い。例えば、引き継ぎ等では、会議の回数や出席者の構成、発言の仕方等、手段ばかりが伝え</p>

	<p>られている。経験者の参考として手段を次の方に教えることは悪くはないが、一番伝えないといけないことは、何の目的で開いている会議なのか、どういう理由で出席する会議なのか、という目的の部分だと思う。そうした目的を伝えた上で、次の役員がその目的にどんな意味を見出して、どのように活動していくかは、次の役員の自由だと思う。つまり目的をもとに手段を考えることが活動の充実につながるとともに、目的の理解を深めることでなり手の育成につながる。</p> <p>こうした理由からまずは目的を確認するという作業が必要だ。その上で役員が考えて行動しようとするのが大切であり、周りは温かく見守ることも必要だ。同調圧力等があると、その圧力に対応することが目的となってしまうことがあるので、様々な手段にチャレンジしている時は、周りが温かくサポートすることで、人材難の改善につながると思う。</p>
<p>構成員等</p>	<p>PTA の目的を保護者に伝えていく始めの場として、幼稚園の PTA がある。幼稚園の PTA では、地域の方とのコミュニケーションも多いので、そのタイミングで PTA の目的等をしっかりと伝えることができれば、もっと違うイメージで PTA(保護者会)のことを理解していただけたらと思う。そのために、保護者に分かりやすい発信ができるように、工夫していきたい。</p>
<p>構成員等</p>	<p>保護者に分かりやすく伝えることは大切だと思う。保護者の世代を考えると、校長先生の話ばかりではなく、担任の先生の悩みや話を聞きたいと思うことがある。保護者は、教室での話や子どもの様子等を直接見たいし、聞きたいと思っている。そういう意味で、現場の先生の話聞く機会があってほしいと保護者は思っており、そうした活動が PTA に入るメリットにもなると思う。</p> <p>また、他市町の学校では PTA と先生の懇親会をしている事例もある。そうした場が、相互理解を深める空間になっていると思う。川西ではそういうことを行っていないので、そうした場が持てる関係を築いていきたいと考えている。</p>
<p>構成員等</p>	<p>私は2人の子どもを育ててきたが、当時は母親が家に居ることが多かった。しかし、今の時代では共働きの家庭が非常に増えている現状があり、こうした状況に対応しなければ、人材確保にはつながらないと思う。</p> <p>自治会においても、働く年齢が以前よりも上がっているため、地域活動に携わる余裕がなく、活動の担い手を確保することが難しくなっている。これは PTA と似た環境にある。それを改善できるような洗練された体制を整えていくことが望ましい。</p>

<p>構成員等</p>	<p>私の PTA では、複数年間役員をしてもらえるように、PTA のアピールをしていきたいと思っている。実際、少しずつ役員を引き受けてくれる方は増えてきており、「やってもいい」という雰囲気根付いてきていると感じている。</p> <p>これを積み重ねていくことで役員のなり手が増えていき、何年間か続けてできる人と新しく役員になる人たちで組織作りをしていく。その上で、学校運営に参画したり、先生と話す機会を設けたりすることで、複数年間役員を引き受ける魅力を感じてもらいたい。</p> <p>また、多くの組織の課題だと思うが、こういう場に出席している人は理解しているが、その内容を広く伝えていくことがとても大変だ。PTA の現状等を、地域の会長や学校長には伝えているが、そこから先には広がっていないと感じる。PTA の現状等の理解が深まらないことで、PTA に対する地域や OB からの圧力を経験することは何度もあった。このような圧力がなくなれば、もっと川西の PTA はやりやすくなると思う。</p>
<p>座長</p>	<p>「広報に王道なし」と言われている。まずは口コミが中心になると思うが、SNS 等も活用しながら情報発信のレベルを上げることが大切だ。</p> <p>また、すべての組織に共通することだが、それぞれの立場の思いや考えを共有できるような環境が必要になる。学校においては、管理職が PTA の取組等を積極的に情報発信していくことも必要だ。</p>
<p>構成員等</p>	<p>PTA のスタンスとして、今までの PTA は大人の幸せをないがしろにしてきたと思う。PTA の目的には、児童生徒の健全育成ということがあると思うが、「子どものために」という大義名分だけを切り取って活動をする大人は不必要に犠牲を払ったり、我慢を強いたりする場面がとても多かったように感じる。このような PTA が長年黒子になって活動してきた歴史から、保護者の当事者意識が低くなっていると思う。私の考えでは、PTA の主役は大人だと思っている。自分たちが主役という意識を持ってないから、当事者意識が薄れ、目的を見失い、参加することに積極的になれないという現状になっている。</p> <p>この検討会では、社会教育団体として大人の教養を向上するということについて共通理解できているが、現場で初めて役員になる方や一般の会員の中では、大人同士がチームになるという目的について理解されていないように思う。子どもが楽しく学校生活を送ることと同じぐらいに私たち大人が楽しむこと、輝くことが、これからの PTA に必要だと思う。子どもの幸せと大人の幸せは、両輪にあると思うので、大人の幸せを PTA の目的の一つであると理解することが大事だと思っている。</p>

<p>構成員等</p>	<p>私の学校では、無関心な会員が多いため、関心を向けてもらえるように取り組んでいる。まず今年度は、PTA が何をしているか分かるように PTA の見える化を進めている。</p> <p>今までは仕事等の事情を理由に、役員を引き受けられない方が多くいたが、6年生を対象にしたイベントを PTA として企画する際に、6年生の保護者からスタッフを募ると、希望する方がとても多かった。仕事の事情等で参加しにくい方でも、関わりたいと思っている方がいるので、そうした方々にも参加していただけるように工夫すると、PTA に関心を持っていただけと感じた。こうした取組を教員や地域との関わりにも生かしていきたいと思う。</p>
<p>構成員等</p>	<p>先生との関わりについて、先ほどより現場の先生の話を知りたいという意見があり、真摯に受け止めている。一方で教員は、保護者と気軽に話をする関係を上手く築けない面もある。コロナ禍もあり、実際に保護者と話をする機会も少なくなっている現状に加え、教員のミス等が社会問題として大きく報道される昨今では、教員が萎縮している面もある。こうした社会問題については、当然あってはならないことだが、教員が行動を慎もうとする中で、保護者と気軽に話す関係を築きにくくなっていることも考えられる。</p> <p>以前には、市内で PTA と教職員との懇親会をしていた学校もあったが、時間帯が勤務時間外等になることも多く、働き方改革を進めていく上で、少なくなっていることも理由として考えられる。</p> <p>また、本校では教員が保護者に相談したいことがある時は、学年委員等が窓口になっていただいていたが、PTA の組織改編で役員が少なくなったことで、話す機会も減少している。以前は、PTA と定期的に意見交換することができていたので、行事の見直し等も比較的スムーズに行うことができていた。そういう点で、PTA と協議をする機会は今後も設けていきたいと思う。併せて、教職員の働き方改革についても PTA と相互理解を深めて一緒に進めていきたいと思うが、教員にそうした PTA との連携を浸透させていくためには時間がかかるので、校長が積極的に伝えていく必要がある。</p>
<p>構成員等</p>	<p>PTA 活動が厳しい時代になっているが、「子どもの見守り」は保護者にとって自分の子どもに関わる大切な活動なので、それを充実させるために全保護者が見守ることができるように、保護者と検討を進めているところだ。また、本日の協議を聞き、学校の見える化の大切さを感じた。学校での意思決定を保護者に見える化する工夫をしていきたいと思う。</p>

<p>構成員等</p>	<p>今は、校長が PTA との窓口になっているため、職員の PTA に対する意識は校長の裁量にかかっている。校長が全職員に直接伝わるように工夫していくこともこれから必要だと感じている。</p> <p>公立の幼稚園は地域にあるので、地域活動に参加するスタートは幼稚園児だと思う。地域で活動する園児を見ることが楽しみにしている方も多い。一方で、小学校には私学の幼稚園から入学する子どもが多いので、保護者同士のコミュニケーションが取りにくい面があると思う。地域の幼稚園に通っている家庭は顔見知りになっているが、遠くの幼稚園に通っているとそうしたつながりが築きにくいのではないかと懸念しているので、解決できる方法を考えている。例えば、同じ学校に入学する新1年生を集めたイベント等ができないか、地域としても考えている。</p>
<p>構成員等</p>	<p>私の幼稚園では、保護者会の議事録を職員が見られるようにしている。また、ネット環境に課題があるので SNS 等の活用は難しいが、日々の送り迎え等で保護者と教員が話をしているので、そうしたやり方はこれからも大切にしていきたい。</p> <p>また、先ほど子どもの幸せと親の幸せは両輪だという話があったが、私も同感だ。先日、座長に幼稚園 PTA 連絡協議会の研修会に来ていただき、「PTA 活動は与えられた活動ではなく、先生も保護者も子どもと共に、楽しみややりがいを自分で取りに行くもので、負担感ではなく幸せを掴み取る達成感を味わうもの」と話をいただいた。</p> <p>その話を聞いた保護者からは、前例踏襲ではなく自由にできることに気づくことができ、気持ちが高まったという声がたくさんあった。そこで幼稚園の保護者も手応えを感じているようだった。</p> <p>また、地域で子どもを育てることは、地域の方々に子ども達の成長が見えることにつながり、育ちを喜び合う仲間関係の構築につながるので、大切なことだと感じている。</p>
<p>座長</p>	<p>では、最後に副座長から、本日の協議のまとめをお願いしたい。</p>
<p>副座長</p>	<p>本日、皆さんの意見を聞き、いくつかのテーマが出てきたと思う。</p> <p>まず一つ目は、これからの学校運営には保護者がこれまで以上に参画していくことが必要だという点だ。そのためには、定期的に学校との意見交換の場を設ける必要がある。これは、学校の働き方改革という視点においても必要だと感じられる。</p>

<p>座長</p>	<p>二点目として、学校や PTA の見える化の必要性が挙げられる。そのためには、SNS 等を活用してタイムリーな広報をしながら、保護者に活動を分かりやすく伝えていく工夫が PTA にも学校にも必要だ。</p> <p>三点目としては、関係する全ての人の利益を目指すことだ。子ども達のために活動するのだが、こうした活動に関係する人たちすべての利益を目指すような目的を持って、取り組むことが必要になってきている。</p> <p>本日の協議では、主に以上の3点がテーマになっていたと思うので、今後の協議の中でまとめていきたい。</p> <p>熱心に協議していただいたことに感謝する。ここで本日の協議は終了させていただくので、私の議事進行は以上とする。この後は事務局より進行をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>次回の開催について</p> <p>【閉会】</p>